

議長あいさつ



議長

鯉 渕 秀 雄

町民の皆様、あけましておめでとうございます。

皆様には、すがすがしい新年をご家族おそいでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて国内では、少子高齢化問題が加速し、地方の景気回復が一向に見えない中、食料品の産地偽装問題、事故米・汚染米問題、また、幼児の事件事故等々誠に騒がしく厳しい年でありました。

そういった中で、城里町においては、依然として厳しい財政状況におかれておりますが、七会地区の町道徳蔵倉見線の改良、水道未普及地域解消事業、

古内地区農業集落排水事業等々が順調に進行しており、町の将来像である「人と自然が響きあ

い」とともに輝く住みよいまち」に邁進しておりますことは、誠に喜ばしい限りであります。

私たち議員は、町民の皆様の代表であることを強く自覚し、負託に応えるべく日々研鑽に努め、議会改革を通じて分権時代にふさわしい議会運営を念頭におき、まちづくりの目標達成に向け、適切な議案審議に努めてまいりますので、皆様の特段のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、町民の皆様にとりまして、今年1年が良い年になりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

副議長あいさつ



副議長

三 村 由 利 子

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、平成21年の初春をお健やかに迎えられましたこととお慶び申し上げます。

さて、本町においても、急速な少子高齢化社会の到来や、地球規模で進む環境問題、経済状況の悪化に伴う雇用問題が発生しており、住民ニーズの高度化・多様化に適切に対応できる行財政運営が求められており、行政サービスを自己決定・自己責任のもとに行い、さらなる行財政改革を進め、安定した財政構造を確立していくことが必要であります。

限られた財源の中で、町民の

満足度を高めていくためには、行政と町民の皆様が共に知恵を出し合い、主体的に発揮される社会を構築していくことが重要であります。

このように、地方の役割はますます重要になってきています。その在り方について、住民自治の原点に立ち返って再検討し、より効率的な経営が必要であります。議会でも、その機能の重要性を再認識し、皆様の期待と信頼に応えるため、開かれた議会を目指し、議員一丸となって努力してまいりますので、さらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆様にとりまして、幸多き年になりますようご祈念いたします。ごあいさつといたします。